

背景

- 近年の技術的要請
 - ノンファーム接続による送電線混雑の解消に活用
 - 特定エリアの30分単位以下のPV発電出力の推定技術が必要
 - すべてのSMデータを利用することは高コスト
 - 必要最低限のデータ数で特定エリアを推定することが重要

目的

- 特定エリアのPV出力推定手法の開発
 - 出力計測地点（数と場所）の選定手法の開発
 - 選定された地点の計測データを用いた特定エリアのPV出力の推定手法の開発

- 手法
- 出力計測地点（数と場所）の選定手法の開発
 - 3Dクラスタリング
 - 選定された地点の計測データを用いた特定エリアのPV出力の推定手法の開発
 - 線形回帰

例：

